

アドビ、包括的なクリエイティブ AI プラットフォームである Firefly に新たなパートナーシップと新しい Firefly モデルを導入 AI を活用したクリエイティブに革命をもたらす

- 最新バージョンの Adobe Firefly web 版では、商用利用可能な Adobe Firefly 生成 AI モデルに加えて、Google Cloud や OpenAI などのパートナーが提供する AI モデルも選択肢として提供。クリエイターは同じ場所で画像、動画、音声、ベクター、デザインのアイデア出しやコンテンツ作成から納品物制作までを行うことが可能に
- アドビは完璧なリアリズムとディテールを実現する新しい「Firefly Image Model 4」と「Firefly Image Model 4 Ultra」を発表し、さらに「Firefly Video Model」の一般提供を開始
- Firefly アプリの一部としてパブリックベータ版がリリースされた「Firefly ボード」は、ムードボードの作成やクリエイティブなコンセプトの探求のためにコラボレーション可能な AI ファーストの新しいインターフェイスを提供

※当資料は、2025 年 4 月 24 日（英国時間）に米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳版です。

【2025 年 4 月 24 日】

アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、英国ロンドンで開催中のクリエイティブカンファレンス「Adobe MAX London 2025」において、AI を活用して、アイデア出しやコンテンツの作成から納品物の制作まですべてを1つのアプリで提供する

「Adobe Firefly」の最新バージョンを発表しました。Adobe Firefly を使えば、クリエイターは比類のないクリエイティブコントロールを維持したまま、1つの場所で画像、動画、音声、ベクターを生成でき、さらに、さまざまなアドビのクリエイティブツールを使用しながら何度でも生成出力を活用し、納品物にシームレスに組み込むことができます。アドビは現在、商用利用に安全な Firefly モデル、Google Cloud や OpenAI を含むパートナーモデルの選択肢、そして Creative Cloud アプリに統合された AI 搭載ツールを備え、業界で最も包括的なクリエイティブ AI プラットフォームを提

供しています。

Adobe Firefly には、とてもリアルな画質の Firefly Image Model 4 や完璧なディテールと複雑さを実現する Firefly image Model 4 Ultra、テキストプロンプトから画像や映像を生成し、比類のないクリエイティブコントロールを可能にする Firefly Video Model を含む、アドビの商用利用可能なクリエイティブ AI モデルが搭載されており、これらはすべて本日より一般提供されています。加えて Google Cloud や OpenAI などのパートナーのモデルも現在選択可能になり、クリエイターはさまざまな美的スタイルを探求できるようになりました。今後数か月のうちに falai、Ideogram、Luma、Pika、Runway などのパートナーのモデルも利用可能になる予定です。さらに、Adobe Firefly アプリでは新しい AI ムードボードアプリ「Firefly ボード」のパブリックベータ版が利用可能となり、ムードボードの作成、クリエイティブコンセプトの探求、数百のバリエーションの検討、アイデア出しのコラボレーションを可能にする AI ファーストのインターフェイスをクリエイターに提供します。

アドビのデジタルメディア事業部門代表であるデイビッド ワドワーニ (David Wadhvani) は、次のように述べています。「Adobe Firefly では、画像、動画、音声、ベクターの生成をひとつにまとめ、AI を活用したクリエイティビティを1か所に統合した創造体験の変革を目指しています。新しい Firefly モデルとパートナーモデルの統合により、ユーザーは自身のビジョンを実現するための究極の選択肢を手にいれることができます。」

画像、動画、音声、ベクターの生成を統合し、比類のないクリエイティブコントロールを提供する Adobe Firefly は、クリエイティブプロフェッショナルが、かつてない精度でより生産的に作業できるように支援します。この製品は Adobe Photoshop、Adobe Premiere Pro、Adobe Express、およびアドビのその他のクリエイティブツールとシームレスに統合されており、アイデア出しから最終納品までのコンテンツ制作プロセスのすべての段階で AI による支援を提供します。Adobe Firefly は安全に商用利用できる AI モデルを提供しており、出力画像の構図やスタイルなどを参照画像によってガイドできる機能、生成される画像やビデオのカメラアングルを正確に制御できる機能、動画生成の開始フレームと終了フレームを画像指定できる機能、音声や動画を多言語に翻訳できる機能など、幅広いクリエイティブ機能を提供しています。

クリエイターは本日より新しくなった Firefly web 版を使用できます。モバイル版アプリは近日中にリリースされる予定です。

Adobe Firefly 生成 AI モデル

Adobe Firefly アプリには、**Firefly Image Model 4** と **Firefly Image Model 4 Ultra** をはじめとするアドビの [Firefly モデル](#) ファミリーが全部含まれます。これらはすべて商用利用可能であり、最終納品物の生成に適しています。これまでで最も高速で、コントロール性とリアリティに優れた Firefly Image Model である Firefly Image Model 4 は、リアルな画質、出力の構図やスタイルに対するより高度なクリエイティブコントロール、カメラアングルやズームのより詳細な制御、コンセプトをクイックに探り、いくつものバリエーションを検討するためのスピードアップを提供します。最大 2K 解像度の画像を生成できるため、クリエイティブプロフェッショナルはクオリティを損なうことなく、より正確に画像をトリミングおよび再構成し、より大きなフォーマットで印刷することができます。Firefly Image Model 4 が高品質の画像を迅速かつ効率的に生成してすばやくアイデアを形にするのを支援し、Image Model 4 Ultra は、完璧なディテールとリアリズムが要求されるプロジェクトのために、構図がシンプルで緻密なシーンのレンダリングを行うのに向いています。

[Firefly Video Model](#) は、業界初の知的財産権に配慮した動画生成 AI モデルで、出力は最終納品物としてそのまま使えます。これにより、クリエイターは、テキストプロンプトや画像から美しい 1080p の動画を生成したり、直感的な操作でカメラ設定を細かく調整して新たなレベルの精度を実現したり雰囲気のある要素を作成したり、カスタムモーションデザイン要素を開発したりすることができます。電通、ペプシコ/ゲータレード、スタッグウェルなど、多くの企業がこの動画モデルについて「最終納品物の制作に自信を持って使用できる」と評価しています。

Adobe Vector Model を搭載した、新しい「[ベクターを生成](#)」の一般提供が開始されました。この機能により、デザイナーは、自然言語で書かれたシンプルなテキストプロンプトを使用して、完全に編集可能なベクターベースのアートワーク、ロゴのバリエーション、製品パッケージ、アイコン、シーン、パターンなどを作成することができます。

アドビの Firefly モデルファミリーは、クリエイターによって、画像や動画など、世界中で 220 億件以上のアセットの生成に使用されています。

パートナーの AI モデルを統合し、Adobe Firefly アプリを核とした生成 AI モデルのエコシステムを構築

クリエイティブプロフェッショナルが自分に合ったやり方で柔軟に AI を活用できるように、Adobe

Firefly アプリでは固有の美的スタイルを持ったパートナー提供の AI モデルを選び、試すことができるようにします。第一弾として、OpenAI の画像生成機能、Google Imagen3 および Veo2、そして Flux 1.1 Pro を選択肢として提供します。また、fal.ai、Ideogram、Luma、Runway といった他のパートナーのモデルも今後数か月以内に追加を予定しています。

OpenAI の最高製品責任者であるケビン ウェイル（Kevin Weil）は、次のように述べています。

「Adobe と協力し、OpenAI の画像生成機能をクリエイターに提供できることを嬉しく思います。これにより、より多くの人々が、既に使い慣れている Adobe のクリエイティブスイートを使って、一貫性があり、コンテキストに応じた画像を作成できるようになり、アイデアを視覚的に共有する方法がさらに広がります。」

クリエイターは、どのモデルがどのステップで使用されているかを完全に把握しながら、モデルを簡単に切り替えることができます。AI で生成されたコンテンツには、Adobe Firefly モデルまたはパートナーの AI モデルで作成されたことを明確に示すコンテンツクレデンシャル（コンテンツ認証）が自動的に添付されます。エンタープライズ版の場合は、組織全体で、パートナー AI モデルを有効にするオプションを選択できます。

Firefly ボード：ムードボード作成とアイデア出しのための、AI ファーストのインターフェイス

Adobe Firefly アプリの一部としてパブリックベータ版がリリースされた [Firefly ボード](#) は、ムードボード、ストーリーボード、ブレインストーミング、クリエイティブなコンセプトの探索、何百ものバリエーションの反復、そして制作に直接移行できるコラボレーション機能を備えた、AI ファーストのインターフェイスをクリエイターに提供する機能です。以前「Project Concept」としてプレビューされたこの Firefly ボードは、クリエイティブチームが実際の制作に取りかかる前にコンセプトの共有を迅速かつ容易に行えるようにします。Firefly ボードを活用すれば、クリエイターたちはそれぞれのビジョンを形にし、同じ場所に持ち寄ってアイデアを洗練させることで、制作プロセスの次の段階にシームレスに進むことができます。

Adobe Firefly Services：企業のクリエイティブ制作の効率化

Adobe Firefly Services は、クリエイティブおよび生成 AI に特化した API のコレクションであり、アドビの AI 搭載新機能をコンテンツ制作ワークフローに直接組み込むことで、マーケティングチャネルごとにアセットをリサイズするなどの反復的で時間のかかるタスクを容易にします。アクセントゥア、電通、ゲータレード／ペプシコ、エスティローダカンパニーなどの大手企業や代理店は、

Adobe Firefly Services を活用してキャンペーンの立ち上げ時間を短縮し、カスタマイズされた顧客体験で新しいオーディエンスを魅了しています。生成 AI の活用はコンテンツ制作のワークフローを効率化し、ひいてはクリエイティブの生産性を向上させています。

アドビは Adobe Firefly Services に安全に商用利用可能な Firefly モデルを活用した新しい API を導入しました。ベータ版で提供が開始された **Photoshop API** により、企業は大規模に画像編集作業を加速させることができます。また、「**テキストから動画生成**」API と「**画像から動画生成**」API により、テキストや静止画像を動画に変換することが可能です。近日提供開始予定の Firefly Image Model 4 を搭載した最新の「**テキストから画像生成**」API と **Avatar API** は、製品説明のための魅力的な動画コンテンツを作成することができます。

業界で最もクリエイター中心の AI アプローチ

アドビは、業界で最もクリエイター中心の AI アプローチを採用しています。アドビは、AI は人間の創造性を置き換えるのではなく、むしろ支援するツールであると考えています。そして、クリエイターの権利の尊重を含め、責任を持って生成 AI を開発することは可能だと信じています。アドビの商用利用可能な Adobe Firefly 生成 AI モデルシリーズに対するアプローチは、クリエイティブコミュニティに根ざした私たちの伝統と、クリエイターへの敬意に基づいています。生成 AI に対する当社のアプローチの詳細については <https://www.adobe.com/jp/ai/overview/firefly/gen-ai-approach.html> をご覧ください。

価格と提供時期

Firefly Image Model 4、Firefly Image Model 4 Ultra、および Firefly Video Model は、Firefly web 版を通じて一般提供を開始しています。Firefly ボードは、Firefly web 版の一部としてパブリックベータ版をご利用いただけます。Firefly のプランの詳細は [こちら](#) をご覧ください。

■「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

© 2025 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.